



## 地方通信



### 北陸地方

#### 富山縣下の存覺橋と櫻橋

富山縣東西兩礪波郡の郡境を流れる山田川に架する小森谷福野間縣道の存覺橋と福野福光間縣道の櫻橋との二橋は施工中の處漸く完成したので去六月二十七日賑はしく竣工渡橋式を舉行した。

#### 石川縣下七尾の道路鋪裝

石川縣鹿島郡七尾町の街道を近代的な明粧へと多年間懸案として運動する處があつたが地元との折合もつき町會で決定するとなつた、即ち一本松通りの縣道は、工

費八千六百圓で縣が施工し作事町の町道は工費五千圓を以て町が施工することとなつた同町内の二筋の道路は漸く茲に近代的鋪装を施さるるに至つた。

#### 福井市魔の踏切の改良

石川縣能美郡小松町の北端國道は内務省直轄工事に依り千五百米の新國道を開設し其中間梯川には長七六米有效幅員七・五〇米鐵筋コンクリートの大橋を架設中であるが、着手以來約一ヶ年を費し近く完成を告ぐることとなつた。

#### 石川縣小松大橋の架橋工事

石川縣能美郡小松町の北端國道は内務省直轄工事に依り千五百米の新國道を開設し其中間梯川には長七六米有效幅員七・五〇米鐵筋コンクリートの大橋を架設中であるが、着手以來約一ヶ年を費し近く完成を告ぐることとなつた。

### 東山地方

扼して交通並に貨物輸送量の第一位を占めて居る豊島上町城ノ橋鐵道踏切は其改良に關し有志は鐵道當局に對して運動する所があつたが鐵道側でも研究の結果地下道を開設することとなつた其設計によると幅五メートル、高さ五メートル、長さ五〇メートルの鐵筋コンクリート固めのもので近日中に着手の豫定で踏切地下道としては濱松市のそれに次ぎ貨物自動車が二臺並行してなほ荷車一臺の餘裕を殘す全國有數のもので、竣工の際は北陸隨一大地下道として織物王國の福井市の交通ならびに貨物輸送上に謀期的な利便を供するものとして大いに市民の注目を引いてゐる。

#### 長野縣長野市の大動脈道

長野市内で昨年二月起工した昭和通りは幅二十五米の市中第一の大通として開設せられた、六月二十二日には竣工式を舉行し此の路線は將來國道十號路線に接續し本市交通網の大動脈道となる。

## 長野縣下行人橋成る

長野縣西筑摩郡福島町の縣道御嶽街道行人橋は工費一萬三千圓で施行中であつたが今回竣工した、此の新橋は長三十六米幅員六・六〇米の三柱環式鐵筋コンクリート單桁橋で歩車道を區別したモダン橋である。

## 中國地方

### 廣島縣下竹原日本橋の開通

廣島縣加茂郡竹原町三吳線竹原驛と竹原の市街地を繋ぐ最捷路である竹原日本橋は素封家桐谷敬造氏の力で架橋し其開通式が六月二十五日舉行せられた、此開橋に依つて同地方の交通上一大利便を與へられたことは云ふまでもないことである。

### 山口縣の十年度農村應急

#### 土木事業

山口縣下における十年度の農村應急土木事業費は總額十二萬二千圓と決定した、國庫補助額および地元負擔額は左の通り

## 四國地方

### 愛媛縣長濱大橋の工事

愛媛縣喜多郡長濱町縣道肱川口に架する長濱大橋は總工費二十七萬圓を以て昭和八年十一月起工し着々工事を進捗して居るが此開閉橋は最新ドスキュール式開閉橋で全

長二二六メートル、幅員六・五〇有效幅員五・五〇メートル、しかも中間の一八メートルの區間は電氣のスイッチ一つによつて自由に揚卸しが出来る仕掛になつてゐる、帆船などを通ずる場合にはこの區間が一方の側を起點として直角に橋が揚るから自由に航行出来る譯である。

### 愛媛縣の縣道改良の一大計畫

愛媛縣土木課では縣道二百二十一號線中交通頻繁な幹線道路を次ぎ／＼に改良する計畫をたてこのほどその成案を得たがその路線數は七十一線延長四百キロに及び改良

一、町村工事費四萬三千二百圓、この内四分の三、三萬一千六百五十圓は國庫補助、殘餘は地元負擔  
一、縣道工事費六萬三千圓、この内三分の一、二萬一千圓は國庫補助、殘餘は地元負擔一、河川港灣事業費一萬五千圓、この内三分の一、五千圓は國庫補助、殘餘は地元負擔となつてゐる

なほこのスイッチ一つをひねることによつてベルが鳴り赤青のシグナルが點じ連続ガーン振りで、全部鐵製でバスキニール式の機械の部分は大阪鐵工所の精密な製作により鐵屑とコンクリートをつめ込んだ分銅で（重量六十トン、自重八十八トン）起點の齒車へ電力が加はると同時にこの分銅の重量に引かれて橋桁の一部分が直立することなる。全國でも珍らしいこの長濱大橋も七月下旬には全部の工事を終る豫定で、完成の時には鴨綠江の開閉橋とともに國內の名物となることだらう、國鐵讃豫線の長濱驛開通も本年九月に迫つてゐるが、交通の便と相俟つて長濱町の前途は面目を一新するであらう。之で同地方民は更生の途を得る譯である。

費は三百七十七萬八千六百四十六圓に達するもので、一ヶ年三十五、六萬圓前後の繼續事業です。また十ヶ年で完成せしめる意氣込みである。また國道二十四號線の改修については現在松山市新立橋——久米間を工費十七萬圓で本省直營で施工中であり今後も繼續事業として獲得しその全線改修（工費二百萬圓）におよび十ヶ年を豫定してあります。要市町村道についても縣からそれより市町村を鞭撻して改修せしめる意向でこれ等國道、縣道、市町村道の效果的な聯絡を保たしめて産業、觀光、軍事道路として十分にその機能を發揮せしめるものである。なほ國縣市町村道の重要な部分は何れも鋪裝道路にする計畫である。縣道改良計畫七十一線中には左の如き路線が含まれてゐる。

△湯山——北條線十一萬三千八百圓△道後

十三津濱線二萬五千六百六十圓△楠川——松

山線三萬八千四百圓△餘土——三津濱線二

萬五千六百十圓△袖川——松山線八萬七千五百圓△宇和間——大浦線九萬七千百圓△

壬生川——西條線十六萬九千圓△久萬——中山線十三萬六千圓△森山——野村線十一萬六千二百五十圓△三崎——三机線二十五萬五

千圓△蔵淵——宇和島線二十二萬六千圓△高山——三瓶線八萬七千圓△下灘中山——線七萬二千圓△中山——上灘線七萬三千圓△久萬——壬生川線五萬六千圓

所である。發會式に際し宣言したる所は、我等は大日本帝國臣民なり、我等は與津村道路愛護會員なり、我等の本領は道路報國なりと云ふに在る、會則及發會に對する縣土木主幹の祝辭は左の如し。

### 道路愛護會會則

#### 第一條 名稱

本會は與津村道路愛護會と稱す

#### 第二條 會員

本會の會員は與津村男女青年團を以て組織す

#### 第三條 目的

本會は與津村地内における府縣道七里與津線町村道鄉分線駄場線小室線鄉分線鄉分六川線の保護改善を計る目的として

左の各項を行ふ

一、毎年縣主催の道路愛護デーには會員總出動し主として府縣道の手入を行ふものとす

二、會員は常に其の區分の交通面の整理を行ふ

三、暴風雨の場合は晝夜を問はず相當數の會員出動して區内を警戒し簡易なるものは直に之を修理す

四、會員毎年春秋二回區内全般の手入を行ふものとす  
五、本會は毎年一回以上道路愛護に關する講演會を開催す

六、本會は毎年三月末に其の前年度の會務一切を縣に報告す（第四條略）

### 第五條 役員の任務

#### 一、會員の統制

二、縣及會員外との連絡作業に關しては會長簡易なるものは副會長および評議員において處理す（第六條以下略）

#### 祝辭

本日茲に與津村道路愛護會發會の式典を舉行せられこの祝すべき席末に列するを得たるは最も欣幸とする所なり抑も道路は交通上極めて緊要なる機關にして之れが改良整備は産業文化の進展に至大の關係を有し爲政上一日も忽諸に附すべからざるなり、然るに道路の現狀は其の利用狀態逐年繁雑を極め殊に最近動力による運輸機關の著しき發達により幾多の改良修理をするものあるは一般の齊しく痛感せらるゝ所にして道路管理者に於ても銳意之れが完備に對し夫々企畫する所あ

りと雖も縣財政の關係上之が急需に應じ得ざるの状況に在る。洵に遺憾とする所なり今や内外他事文化施設の擴充を必要とする秋に際し單に當局のみに委して一般公衆に於て何等對策を講ぜざるが如きは公共物愛護の美風に反するのみならず爲めに憂るべき不利不便に想到せば蓋し思ひ半に過ぐるものあらん

こゝに於て御當村青年諸氏は本年四月本縣に始め制定せられたる道路愛護治水施設保全獎勵規程に基き他に率先して本會

を設立せられ和協一致今般道路の維持修繕に關する研究調査を遂げ或は當局に進言して講演會又は講習會を開催する等大

いに輿論の喚起に努むると共に覺醒奮起を促し或は當局と提携策應して道路保護維持の實を擧げ以て時運の發展に資する一面本會事業の一たる道路愛護デーを永久に地方年中行事として奉仕の二字と共に存共榮の精神に則り三百六十五日此の心を犒らひ表影した。

## 熊本縣の道路愛護と修路工夫選獎

熊本縣土木課では昭和九年度末縣下修路工夫諸君の成績優良なる者を選獎した、總人員百八十七名の中左記賞狀と共に一等金拾圓、九名二等金七圓、十七名三等金五圓、二十三名計四拾九名の大半數に及び其の勞を犒らひ表影した。

#### 賞狀

昭和九年度中克ク職務ニ精勤シ修路ノ實ヲ擧ゲ其ノ功績顯著ニシテ洵ニ他モ模範

業の遂行とその健全なる發達興隆を期しもつて目的を達成せしめられん事を本日發會の式典に際し所懷の一端を述べて祝辭となす

昭和十年六月十七日

須崎土木出張所主幹  
丸山新藏

トスルニ足ル仍テ金圓ヲ授與シ茲ニ之レ

ヲ賞與ス

昭和九年三月

### 知 事

昭和九年は特に道路愛護の強調年間とも言ふ可く課長始め課員協調熱心に道路愛護に努めたる爲めか見る見る痘痕道路も影を潜め良好なる路面となり地方人士に感謝の聲を聞くに至つた、是れぞ修路工夫諸君勤労の現れにして實際世人はかの自動車走後の塵煙には息すだに苦しきものを毎日數百回も修路工夫諸子は恰も軍人が砲煙彈雨の中に祖国の爲めに盡忠されると同様自若として土の煙幕裡に路面の手入に側溝の整理に従事せらるゝは涙ぐましき敬虔の姿である其他雨中の手入夜間降雪時の巡視等道路戦線第一線の勇士は茲に在りと吾人は絶叫したい、殊に熟練なる修路工夫は材料を經濟的に使用し近頃の不足せる修路費を補ふものあり特に今回表影せられし工夫諸君の熱心なる作業は沿道各町村人士に道路愛護心を誇知せしめ吾等の「道路の愛護」の宣傳も身を以て範を示す此の勇士に培養せられ發芽せらるゝものと思ふ。此

の成績に鑑みてか熊本縣土木課は三月末百四十餘名の工夫諸君へ督俸の大盤振舞をなせりと（池邊生）

## 大分縣鶴崎橋の竣工

國直轄大野川改修工事施行の爲め之が

附帶工事として架換を要するに至りたる指

定府縣道大分佐賀關鶴崎橋は此の機會に於て永久的構造の計畫を樹て總工費拾壹萬壹千七百四拾參圓内國庫補助四萬貳千圓を以て昭和八年十二月着手し本年三月竣工を見るに至れり。

本橋は延長三百四十一米有效幅員五米五にして橋臺、橋脚は共に重力式混擬土にして基礎前者は杭打後者は井筒及杭打、基礎十六基を築造す。

橋體はゲルバー式鐵筋混擬土桁どし橋面は混擬土鋪装を施行し照明装置は八燈を取付けたり。

往時鶴崎町は肥後藩に屬し藩主參勤交代に際しては本大野川河口港ヨリ乗船するを例とし當時は腹賑を極めたるも其後廢藩置縣に依り現在に移り大野川改修工事に伴ひ各種工場の設置も漸次具體化し會々本橋は

此の好機に改築せられ且つ大分市、佐賀關町を連絡する交通路の要衝に當り同地方の文化産業の進展に寄與する所大なるものあるを信す。

## 鹿兒島縣鹿兒島市清瀧橋の開通

鹿兒島市昭和九年度失業應急事業として

さる一月十八日から着工の市内鹽屋町、清瀧川尻の清瀧橋はいよいよ十四日から開通したが、幅員十三メートル、ゲルバー式鐵筋コンクリートT型橋といふ鹿兒島縣下でははじめての構造であり中央部は橋桁に重心をおかず兩方の橋板に重心を轉嫁してゐる風變りのもので、今まで市内で最新式を誇つてゐた高見橋も御株を奪はれた形である。

なほこれが工費は約金二萬五千圓で兩橋袖の電燈は十六日ごろから點火されることとなつてゐるが背景に櫻岳あり、道は新設せられ鹿兒島にまた名所が一つ出来たわけである。

## 滿洲地 方

## 新京吉林間の國道の完成

滿洲國政府の發表に依る新京吉林間の國道の完成概況は左の通りである。

國道局は大同二年度路線の一として國都新京と省都吉林を結ぶ京吉國道を計畫し、大同二年七月同局新京建設處をして工事の施工に着手せしめ爾來工を進むること約二ヶ年間今日遂に全工事を完成しこゝに吉日をトし庚德二年六月十五日愈々竣工式の盛儀を擧ぐるに至る以下本國道の概要を述べ併せて沿道一帶の狀況を汎く世に紹介する。

一、沿線の概況 京吉國道は新京特別市外五里塁を起點とし百花撩亂たる石碑嶺大平山等の小丘陵地を越えて廣闊なる飯馬河平原に出で坦々たる平野を走ること三十分にして岔路河に達する岔路河は人口五千餘を有する沿線隨一の大部落にして山紫水明の勝地である、同地を過ぐれば國道は再び小起伏地に入り山頂を走り山腹を縫ひつゝ鈴蘭藤

る二道領子老爺嶺等の峠を越えて國道終點吉林高等師範學校前に到達するものにして全長百十キロに達す。

二、工事の概要及工費 本國道築造工事は大同二年七月匪情尙驟然たる頃工事に着手し爾來各係員はあらゆる困苦缺

望に堪へ左手に歩兵銃を右手に「ショベル」を持ちつゝ農に夕に獻身的努力を續け遂に今日無事金般の工事を完成し得たるものである完成せたる道路は有效幅員五米にして全線にわたり模範的碎石鋪装を施行しその間所々に「コンクリート」軌條式道、「コンクリート」鋪裝道、「ターマカダム」道等の各種新工法による鋪裝道を施設して専門家の注目するところとなつてゐる、新設せる各橋梁および暗渠などの構造物はすべて近代的工法によつて永久構造物たるの施設をなし内容外觀共に先進文明國の道路技術に毫も遜色なし、道路幅員は二十六米を標準とし將來の擴張に備へしかも道路界境には白楊の並木を植栽して美觀を添へてゐる、所要工費は總額九十三萬圓餘にしてこれに機械費及び事務費を加算すれば優に百萬圓を突破すべし、しかし、その内三十萬圓は吉林省舊省金支辨によるものである。これに使役せる人夫總員數は六十餘萬人に上り貧農救濟に資するところからずと信ず。

三、竣工國道の效果 國都新京と水鄉吉林を結ぶ新國道の開通により兩都市間の交通は僅々二時間半に縮められた、竣工式當日スリ鐵路局乗合バス」の營業開始せらるゝこととなり兩都市およびその沿道一帶は全く王道樂土の光を仰ぎ迎へたりといふべく交通および産業上無限の效果をもたらすものと信ぜらる更に沿道一帶は全く治安確立し何等の不安なく隨時交通し得るは現在滿洲における代表的道路たる旅大道にも匹敵し得べしと思はる。

×            ×            ×            ×

幅員は二十六米を標準とし將來の擴張に備へしかも道路界境には白楊の並木を植栽して美觀を添へてゐる、所要工費は總額九十三萬圓餘にしてこれに機械費及び事務費を加算すれば優に百萬圓を突破すべし、しかし、その内三十萬圓は吉林省舊省金支辨によるものである。これに使役せる人夫總員數は六十餘萬人に上り貧農救濟に資するところからずと信ず。